

平成 21 年度 事務事業事後評価調書 (平成 20 年度事業)

整理番号 5-1

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名	札幌医科大学地域密着型チーム医療実習支援					
評価者	担当課名		保健福祉課		担当係名	
	保健福祉係		保健係		保健係	
	管理職	職名	課長		作成者	職名
	氏名	葛西 隆		氏名	佐々木希美枝	
事業の概要	札幌医科大学医学部・保健医療学部の学生が地域の保健・医療・福祉の実際を見学実習することで、地域住民の生活や専門職間の連携を学び、地域医療への関心を深める事を目的に、西紋5市町村内の医療・福祉施設、保健部門等で行う地域実習経費を負担する。					全体計画 (平成 20 年度～ 22 年度) 国・道支出金 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 789 千円 事業費計 789 千円
実施方法	■ 直営		民間委託		その他 ()	
第5期総合計画(前期)		■ 登載事業		非登載事業		優先度 A
事業の位置付け	政策目標	2 めくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～				
	基本施策	6 保健・医療の充実				
	単位施策	5 地域医療体制維持の確立				
	事務事業の種類	■ 自治事務		法定受託事務		
	その他計画・根拠等					
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(計画)	23年度(計画)	24年度(計画)
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額(一般財源)	176 千円	263 千円	263 千円	千円	千円
	合計	176 千円	263 千円	263 千円	千円	千円

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	札幌医科大学医学部・看護学部等の学生	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	地域医療・チーム医療について学ぶ	地域密着型チーム医療実習の実施			
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	地域医療の課題やチーム医療の重要性を学ぶことにより地域医療への関心を持つ	① 実習機会の提供	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
			目標年度	20年度	
			目標値	1 回	
			実績値	1 回	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	地域医療の担い手が増える	②	達成度	100.0 %	
			目標年度		
			目標値		
			実績値		
内容(どのような手段で何を行ったか)					
学生実習機会の提供	西紋5市町村、札幌医科大学との連携により、8月に2日間、3名の学生実習の受入れを実施した。				

3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

概ね必要 必要／概ね必要／ 課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 義務的なもの	西紋5市町村の共同事業として3か年計画で実施しており、継続が必要である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

概ね有効 有効／概ね有効／ 課題あり	設定した目標値の達成状況	医療従事者を確保する等直接的な効果は期待できないが、長期的には本町の知名度の向上や、将来的な地域医療従事者の育成に関して有効と考える。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的／概ね効率的／ 課題あり	判断の理由	必要経費の内訳が明確であり、効率的に事業を実施することができた。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

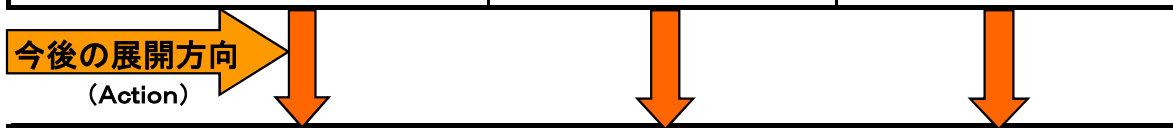
(4)事務事業の公平性

概ね公平 公平／概ね公平／ 公平でない	判断の理由	実習生自身の負担もあり、概ね公平と考える。
	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
計画どおり事業を実施することができた。		



継続／現状維持		
西紋5市町村・札幌医科大学等関係機関との連携により、効果的・効率的な事業の実施に努める。		

*展開方向の区分

- 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ○ 終了 ○ 休止 ○ 廃止

5 その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

平成 21 年度 事務事業事後評価調書（平成 20 年度事業）

整理番号 5-2

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名	5歳児発達支援事業					
評価者	担当課名	保健福祉課		担当係名	保健係	
	管理職	職名	課長	作成者	職名	係長
		氏名	葛西 隆		氏名	佐々木希美枝
事業の概要	発達障害児の早期発見・支援の充実及び小児肥満など小児期からの生活習慣病予防を目的に5歳児に対する健診・健康相談を実施する。			全体計画 (平成 20 年度～ 24 年度) 事業費 国・道支出金 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 510 千円 事業費計 510 千円		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 民間委託	<input type="checkbox"/> その他 ()			
第5期総合計画(前期)	<input checked="" type="checkbox"/> 登載事業	<input type="checkbox"/> 非登載事業	優先度	A		
事業の位置付け	政策目標	2 めくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実				
	基本施策	6 保健・医療の充実				
	単位施策	3 母子保健の充実				
	事務事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務			
	その他計画・根拠等	母子保健法・発達障害者支援法				
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(計画)	23年度(計画)	24年度(計画)
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額(一般財源)	20 千円	140 千円	90 千円	140 千円	90 千円
	合計	20 千円	140 千円	90 千円	140 千円	90 千円

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	5歳になる児童及び保護者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	心身両面共、健康的に発達し、適切な支援を受けることができる	発達障害に係る学習会の開催			
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	・軽度の発達障害の発見と適切な支援を受ける機会を持てる ・肥満予防等生活習慣病の予防に向けた適切な生活習慣を獲得できる	① 学習会の開催	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
			目標年度	20年度	
			目標値	1 回	
			実績値	1 回	
			達成度	100.0 %	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	・発達障害児・保護者が適切な支援の元、地域で生活できる ・適切な習慣を獲得し、小児肥満等生活習慣病の原因となる状態を改善できる	②	目標年度		
			目標値		
			実績値		
			達成度	%	
内容(どのような手段で何を行ったか)					
学習会の開催	町内の保育所・児童センター・教育委員会等関係者の学習会を開催した。				

3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

概ね必要 必要／概ね必要／ 課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 義務的なもの	発達障害児の早期発見・早期対応は市町村の義務であり、そのため の5歳児健診は、3歳児健診等では発見が困難な事例への支援 のためには必要性があると考えます。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input checked="" type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効／概ね有効／ 課題あり	設定した目標値の達成 状況	平成21年度開始予定の5歳児健診の準備として、発達障害に 係る学習会を開催し、発達障害児支援において重要である療 育・教育支援関係者と、発達障害に関する基本的な知識を学習 することができた。今後健診の実施に向けた具体的な準備が必要 である。
	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的／概ね効率 的／課題あり	判断の理由	学習会の講師は他の事業と関連した形で依頼することができ、事業 費を抑制することができた。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	




(4)事務事業の公平性

概ね公平 公平／概ね公平／ 公平でない	判断の理由	幼児期の重要な課題の一つである保育所等における集団生活への 適応や食事・間食、身体活動など基本的な生活習慣の獲得等への 支援は、すべての幼児に共通する課題であり、公平性があると考え る。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B: ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
B	B	
学習会を通じて発達障害の基本的な知識を確認する事ができた。今後、5歳児健診の実施に向けて、具体的な準備が必要である。		

今後の展開方向 (Action)			
	継続／拡充	継続／拡充	
5歳児健診の実施と保育・教育・療育関係機関との連携により幼児期の健全な発達支援を図る。			
* 展開方向の区分 <input type="radio"/> 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 <input type="radio"/> 終了 <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 廃止			

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

平成 21 年度 事務事業事後評価調書 (平成 20 年度事業)

整理番号 5-3

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名		歯科保健事業				
評価者	担当課名	保健福祉課		担当係名		保健係
	管理職	職名	課長		作成者	係長
		氏名	葛西 隆			氏名
事業の概要	むし歯・歯周疾患を予防し、生涯にわたり食事・咀嚼機能を維持するなど、病気の予防と生活の質の向上を図ることを目的に、歯科健診・歯科保健指導等を実施する。				全体計画 / 単年度繰返 (平成 20 年度～ 24 年度) 事業費 国・道支出金 388 千円 地方債 千円 その他 700 千円 一般財源 1,899 千円 事業費計 2,987 千円	
実施方法	■ 直営		民間委託		その他 ()	
第 5 期 総合計画 (前期)		■ 登載事業		非登載事業		優先度 B
事業の位置付け	政策目標	2 めくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～				
	基本施策	6 保健・医療の充実				
	単位施策	1 主体的な健康づくりの促進				
	事務事業の種類	■ 自治事務		法定受託事務		
	その他計画・根拠等	母子保健法・健康増進法				
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(計画)	23年度(計画)	24年度(計画)
	国・道支出金	千円	千円	84 千円	84 千円	84 千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	180 千円	140 千円	140 千円	140 千円	140 千円
	雄武町負担額 (一般財源)	376 千円	443 千円	383 千円	383 千円	383 千円
	合計	556 千円	583 千円	607 千円	607 千円	607 千円

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	生涯にわたり歯科・口腔機能を維持し、生活の質を向上する	歯科保健関連事業の参加者の増			
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	むし歯・歯周疾患の発生を予防する	① 歯科保健関連事業の参加者の増(平成19年度実績 699件)	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
			目標年度	20年度	
			目標値	768 件	
			実績値	746 件	
達成度	97.1 %				
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	おいしく食事を食べることができる歯科口腔状態を維持できる	②	目標年度		
			目標値		
			実績値		
			達成度	%	
内 容(どのような手段で何を行ったか)					
① 歯科保健指導の実施	乳幼児健診・健康相談等において、歯科医師・歯科衛生士が歯科保健指導を行い、むし歯・歯周疾患予防に対する意識や知識の啓発を行った。				
② フッ素塗布の実施	1歳以上の幼児に対し、むし歯予防に効果のあるフッ素塗布の機会を提供した。				
③ 歯科保健に関する広報	町広報に歯科保健に関する記事を掲載し、むし歯・歯周疾患予防に対する意識や知識の啓発を行った。				

3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

概ね必要 必要／概ね必要／ 課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 義務的なもの	歯科保健は町民の健康を守る上で重要な課題であり、基本的な歯科保健に関する意識や知識の啓発を図る事が必要である。町内の歯科医院等との連携と役割分担を検討する余地がある。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input checked="" type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効／概ね有効／ 課題あり	設定した目標値の達成状況	事業を実施することにより目標値をほぼ達成することができた。
	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的／概ね効率的／ 課題あり	判断の理由	乳幼児健診・保育所事業等、関連する事業と同時に実施する等の工夫により効率的に事業を実施することができた。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／ 公平でない	判断の理由	事業の一部(フッ素塗布事業)において、受益者からの負担を設定しており、公平性の確保に努めた。
	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
B	B	
小児期の事業は体系化されているが、成人期の歯科保健事業の実施体制の見直しが必要である。		

今後の展開方向
(Action)

継続／現状維持	継続／現状維持	
専門職(歯科医師・歯科衛生士)を活用し、児童から成人を含めた歯科保健意識の向上を図り、歯・口腔機能の維持・向上に努める。特に、乳幼児健診に来所する保護者や健診に来られる成人期の町民への支援方法の再検討が必要である。		
*展開方向の区分 ○ 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ○ 終了 ○ 休止 ○ 廃止		

5 その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

平成 21 年度 事務事業事後評価調書 (平成 20 年度事業)

整理番号 5 - 4

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名	食育推進事業					
評価者	担当課名		保健福祉課	担当係名		保健係
	管理職	職名	課長	作成者	職名	係長
		氏名	葛西 隆		氏名	佐々木希美枝
事業の概要	乳幼児期から成人期までの一貫した食育事業を推進することにより、健康増進・生活習慣病予防及び生活の質の向上を図ることを目的に離乳食教室等栄養改善・食育に関する事業を実施する。				全体計画 (平成 20 年度～ 24 年度) 事業費 国・道支出金 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 725 千円 事業費計 725 千円	
実施方法	■ 直営		民間委託	その他 ()		
第 5 期 総合計画 (前期)		■ 登載事業		非登載事業	優先度	B
事業の位置付け	政策目標	2 めくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～				
	基本施策	6 保健・医療の充実				
	単 位 施 策	1 主体的な健康づくりの促進				
	事務事業の種類	■ 自治事務		法定受託事務		
	その他計画・根拠等	食育基本法・健康増進事業				
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(計画)	23年度(計画)	24年度(計画)
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額 (一般財源)	25 千円	115 千円	165 千円	115 千円	165 千円
	合 計	25 千円	115 千円	165 千円	115 千円	165 千円

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)
【抱える課題やニーズは】	生活習慣病の予防と食の充実により生活の質を向上する	食育関連事業参加者数の増
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	生活習慣病等を予防するとともに、潤いや楽しみがある地域特性に合った食生活を送ることができる	指標(指標計算式/解説)
		目標年度
		目標値
		実績値
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	生活習慣病予防や生活の質の向上に資する食生活を送る町民が増える	① 食育関連事業参加者数の増(平成19年度実績 450件)
		目標年度
		目標値
		実績値
内 容(どのような手段で何を行ったか)		
食育関連事業の開催	離乳食教室・栄養改善教室などの集団支援及び健診における個別相談・支援	
食育に関する広報	広報・町ホームページ等による食育・栄養改善に関する情報提供	

3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要／概ね必要／ 課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 義務的なもの	食育・栄養改善に関する課題は、生活習慣病予防・生活の質の向上等幅広く関連があり、必要性が高い事業と考える。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input checked="" type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

概ね有効 有効／概ね有効／ 課題あり	設定した目標値の達成状況	乳幼児期の児童・保護者対象の事業においては一定の効果が認められている。今後、青年期・成人期を対象とした事業等の充実が必要と考える。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

概ね効率的 効率的／概ね効率的／ 課題あり	判断の理由	事業に要する経費は必要性を考慮し、効率的な運用に努めた。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

概ね公平 公平／概ね公平／ 公平でない	判断の理由	受益者負担はないが、食育の基盤作りに重要な時期である、乳幼児期の児童・保護者を中心に事業を提供することは、児童の家族を含めた将来的な事業効果が期待できると考える。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
B	B	
乳幼児期の児童・保護者への事業は一定の成果を上げており、今後、他の年代へも事業の展開を図る必要があると考える。		



継続／拡充	継続／拡充	
乳幼児・保護者対象事業の充実に加え、成人期対象の事業についても、特定健診等他の事業実施時に関連して実施するなど拡充していく。		

*展開方向の区分

- 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ○ 終了 ○ 休止 ○ 廃止

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

平成 21 年度 事務事業事後評価調書 (平成 20 年度事業)

整理番号 5 - 5

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名	地域保健予防事業							
評価者	担当課名		保健福祉課		担当係名		保健係	
	管理職	職名	課長		作成者	職名	係長	
		氏名	葛西 隆			氏名	佐々木希美枝	
事業の概要	生活習慣病予防に関する知識・意識を向上することにより、町民の生活の質の向上を図るとともに、医療費・介護費の増高を抑制することを目的に、健康相談・健康講座・家庭訪問等を実施する。					全体計画 (平成 20 年度～ 24 年度) 事業費 国・道支出金 2,924 千円 地方債 千円 その他 1,250 千円 一般財源 8,027 千円 事業費計 12,201 千円		
実施方法	■ 直営		民間委託		その他 ()			
第 5 期 総合計画 (前期)			■ 登載事業		非登載事業		優先度	B
事業の位置付け	政策目標	2 めくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～						
	基本施策	6 保健・医療の充実						
	単 位 施 策	2 成人保健の充実						
	事務事業の種類	■ 自治事務		法定受託事務				
	その他計画・根拠等	健康増進法・高齢者の医療の確保に関する法律						
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(計画)	23年度(計画)	24年度(計画)		
	国・道支出金	528 千円	512 千円	592 千円	638 千円	712 千円		
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円		
	その他財源	175 千円	200 千円	250 千円	300 千円	350 千円		
	雄武町負担額 (一般財源)	1,102 千円	1,427 千円	1,625 千円	1,723 千円	1,907 千円		
	合 計	1805 千円	2139 千円	2467 千円	2661 千円	2969 千円		

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)		
【抱える課題やニーズは】	生活習慣病の発症・重症化の防止	健康相談・健康講座の参加数		
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	生活習慣病の発症率の減少	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
		① 健康相談・健康講座参加数の増(平成19年度実績値300件)	目標年度	20年度
			目標値	330 件
			実績値	346 件
達成度	104.8 %			
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	生活習慣病の発症を予防し健康的に生活する町民が増える	②	目標年度	
			目標値	
			実績値	
			達成度	%
内 容(どのような手段で何を行ったか)				
保健事業の実施	特定健診対象以外の方への一般健診、健康相談、健康講座、家庭訪問等を実施し、生活習慣病予防の意識や知識の啓発を行った。			
生活習慣病予防に関する啓発	広報・町ホームページ等への内蔵脂肪症候群(メタボリックシンドローム)等生活習慣病に関する情報提供を行った。			

3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要／概ね必要／課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 義務的なもの	40歳以上の町民対象の健診・健康相談等は市町村に実施の義務がある。また、生活習慣病の予防には早期からの意識付けが重要であり、30歳代の方への健診等も必要であるとする。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input checked="" type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効／概ね有効／課題あり	設定した目標値の達成状況	目標値は達成され、内臓脂肪症候群(メタボリックシンドローム)等生活習慣病予防の重要性を町民に広く周知することができた。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

概ね効率的 効率的／概ね効率的／課題あり	判断の理由	特定健診等健康診査の実施においては一体的に実施するなど効率的な実施に努めた。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

概ね公平 公平／概ね公平／公平でない	判断の理由	健診受診者には受益者負担を求めている。特定健診の開始により、国民健康保険加入者以外の方は健診の対象外となるが、健康相談・健康講座等は従来通り対象となるため、積極的に参加を奨励した。
	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A 国民健康保険加入者対象の特定健診・特定保健指導の実施と合わせ、町民の健康増進・生活習慣病の予防に寄与する事業を積極的に実施した。		



継続／現状維持		
生活習慣病の発症は長期に渡る生活習慣の積み重ねが基盤となることから、30歳代の早期から健診・健康相談等を通じて、生活習慣病予防等の成果を実現していく。		

*展開方向の区分

- 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ○ 終了 ○ 休止 ○ 廃止

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

平成 21 年度 事務事業事後評価調書 (平成 20 年度事業)

整理番号 5 - 6

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名	がん予防対策事業					
評価者	担当課名	保健福祉課		担当係名	保健係	
	管理職	職名	課長	作成者	職名	係長
		氏名	葛西 隆		氏名	佐々木希美枝
事業の概要	がんによる健康障害の発生・壮年期のがんによる死亡を減少することを目的に、胃・大腸・肺・前立腺・乳・子宮がん検診を実施する。				全体計画 (平成 20 年度～ 24 年度)	事業費 国・道支出金 千円 地方債 千円 その他 2,930 千円 一般財源 8,570 千円 事業費計 11,500 千円
実施方法	直営	■ 民間委託		その他 ()		
第 5 期 総合計画 (前期)	■ 登載事業		非登載事業	優先度	B	
事業の位置付け	政策目標	2 めくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～				
	基本施策	6 保健・医療の充実				
	単 位 施 策	2 成人保健の充実				
	事務事業の種類	■ 自治事務		法定受託事務		
	その他計画・根拠等	健康増進法・がん対策基本法				
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(計画)	23年度(計画)	24年度(計画)
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	753 千円	586 千円	586 千円	586 千円	586 千円
	雄武町負担額 (一般財源)	1,798 千円	1,564 千円	1,714 千円	1,864 千円	2,014 千円
	合 計	2551 千円	2150 千円	2300 千円	2450 千円	2600 千円

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	がんによる健康障害を発症する危険性がある	がん検診受診率の向上			
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	がんの予防及び早期発見ができる	① がん検診受診率	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
			目標年度	20年度	
			目標値	5%	
			実績値	6.60%	
達成度	132.0 %				
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	がんによる健康問題を抱える町民が減少する	②	目標年度		
			目標値		
			実績値		
			達成度	%	
内 容(どのような手段で何を行ったか)					
各種がん検診の実施	胃・大腸・肺・前立腺・乳・子宮がん検診を集団又は個別で実施した。				
がんの予防・検診等に関する広報	検診受診者や町広報にがん検診や予防に関する情報提供を行った。				

3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要／概ね必要／ 課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 義務的なもの	前立腺がん検診以外は健康増進法により実施が規定されている。また、職域におけるがん検診を受ける機会は少ない現状であり、必要性は高いと考える。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input checked="" type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効／概ね有効／ 課題あり	設定した目標値の達成状況	集団検診・個別検診共、検診の受診機会を拡大したことにより、受診者数・受診率が向上した。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的／概ね効率的／ 課題あり	判断の理由	特定健診等他の検診と同時に実施することにより、事業費や作業の軽減を図ることができた。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input checked="" type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	


(4)事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／ 公平でない	判断の理由	検診の受診にあたっては受益者負担を設定している。また、町民に広く検診の実施を周知することで公平性の確保に努めた。
	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A	A	
検診機会の拡大・周知方法の充実などにより、検診の実施率が向上し、計画どおり事業を進めることができた。		

 今後の展開方向 (Action)		
継続／拡充	継続／拡充	
がんは死因の第一位を占める重要な健康課題であり、検診の実施率向上やがん予防に係る知識の普及等が必要である。	目標値の設定について、国の設定数値と乖離があるため、高い目標値とする必要がある。	
*展開方向の区分 <input type="radio"/> 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 <input type="radio"/> 終了 <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 廃止		

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

平成 21 年度 事務事業事後評価調書 (平成 20 年度事業)

整理番号 5 - 7

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名		エキノコックス症検診					
評価者	担当課名	保健福祉課		担当係名	保健係		
	管理職	職名	課長		作成者	係長	
		氏名	葛西 隆			氏名	佐々木希美枝
事業の概要	北海道特有の感染症であるエキノコックス症の早期発見・早期治療を目的として検診を実施する。				全体計画 (平成 20 年度～ 24 年度)	国・道支出金 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 1,360 千円 事業費計 1,360 千円	
実施方法	直営	■ 民間委託		その他 ()			
第 5 期 総合計画 (前期)		■ 登載事業		非登載事業	優先度	B	
事業の位置付け	政策目標	2 めくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～					
	基本施策	6 保健・医療の充実					
	単 位 施 策	2 成人保健の充実					
	事務事業の種類	■ 自治事務		法定受託事務			
	その他計画・根拠等	北海道エキノコックス症対策実施要領					
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(計画)	23年度(計画)	24年度(計画)	
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円	
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円	
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円	
	雄武町負担額 (一般財源)	218 千円	272 千円	272 千円	272 千円	272 千円	
	合 計	218 千円	272 千円	272 千円	272 千円	272 千円	

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	小学3年生以上の町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	エキノコックス症に感染する危険性がある	エキノコックス症検診受診率の向上			
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	エキノコックス症の感染を早期に発見し、適切に対応できる	① 検診受診率	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
			目標年度	20年度	
			目標値	30%	
			実績値	24.90%	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	エキノコックス症を治療し、健康的な生活を送ることができる	②	目標年度		
			目標値		
			実績値		
			達成度	%	
内 容(どのような手段で何を行ったか)					
検診の実施	特定健診等と同時にエキノコックス症検診を実施し、精密検査となった方へは北海道が実施する二次検診を勧奨する。				

3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要／概ね必要／ 課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 義務的なもの	対策実施要領により市町村に検診実施の義務がある。
	<input checked="" type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

概ね有効 有効／概ね有効／ 課題あり	設定した目標値の達成 状況	目標値を概ね達成し有効と考える。
	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的／概ね効率的 ／課題あり	判断の理由	特定健診等と同時に実施することにより、作業の軽減を図る等効率的に実施することができた。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input checked="" type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

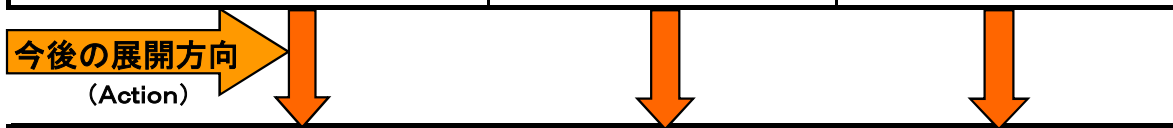
(4)事務事業の公平性

概ね公平 公平／概ね公平／ 公平でない	判断の理由	広く町民に周知し、集団検診と医療機関における個別検診の機会を提供することで概ね公平性を保つことができた。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
B		
ほぼ目標は達成されたが、受診者数・受診率の向上が課題である。		



継続／現状維持		
特定健診等他の検診との同時実施や個別検診機会を設定することにより、効率化を図りながら、目標値を達成できるよう事業を継続する。		

*展開方向の区分

- 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ○ 終了 ○ 休止 ○ 廃止

5 その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

平成 21 年度 事務事業事後評価調書 (平成 20 年度事業)

整理番号 5 - 8

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名		結核予防対策事業					
評価者	担当課名	保健福祉課		担当係名	保健係		
	管理職	職名	課長		作成者	係長	
		氏名	葛西 隆			氏名	佐々木希美枝
事業の概要	結核検診を実施することにより結核の早期発見・早期治療及び結核への感染拡大を防止する。				全体計画 (平成 20 年度～ 24 年度) 事業費 国・道支出金 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 657 千円 事業費計 657 千円		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直営	<input checked="" type="checkbox"/> 民間委託		<input type="checkbox"/> その他 ()			
第 5 期 総合計画 (前期)		<input checked="" type="checkbox"/> 登載事業		<input type="checkbox"/> 非登載事業	優先度	B	
事業の位置付け	政策目標	2 めくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～					
	基本施策	6 保健・医療の充実					
	単 位 施 策	2 成人保健の充実					
	事務事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務		<input type="checkbox"/> 法定受託事務			
	その他計画・根拠等	感染症予防法					
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(計画)	23年度(計画)	24年度(計画)	
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円	
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円	
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円	
	雄武町負担額 (一般財源)	156 千円	111 千円	130 千円	155 千円	175 千円	
	合 計	156 千円	111 千円	130 千円	155 千円	175 千円	

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	65歳以上の町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	結核に罹る危険性がある	結核検診受診率の向上			
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	結核に罹った町民の早期治療に結びつく	① 検診受診率	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
			目標年度	20年度	
			目標値	10%	
			実績値	10.30%	
達成度	103.0 %				
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	結核の適切な治療を受けることにより結核の流行を防止できる	②	目標年度		
			目標値		
			実績値		
			達成度	%	
内 容(どのような手段で何を行ったか)					
結核検診の実施	町内医療機関へ委託し、検診(胸部X線検査)を実施した。				

3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要／概ね必要／ 課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 義務的なもの	感染症予防法の規定により市町村に実施の義務がある。
	<input checked="" type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効／概ね有効／ 課題あり	設定した目標値の達成 状況	委託先医療機関の協力により受診者が増え、目標値を達成することができた。また、重篤な患者の発見はなく事業の効果が表れていると考える。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的／概ね効率的／ 課題あり	判断の理由	医療機関委託により、作業の軽減が図られるとともに、本事業と対象が同じであるインフルエンザ予防接種と周知等を共に行うことでも効率化を図ることができた。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input checked="" type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

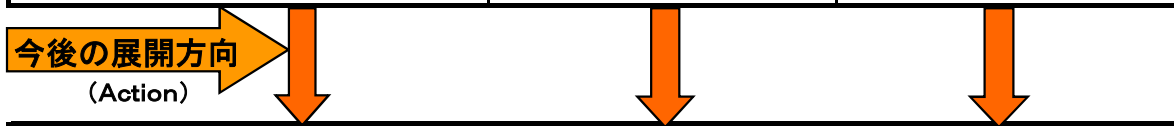
(4)事務事業の公平性

概ね公平 公平／概ね公平／ 公平でない	判断の理由	事業の対象者へは広く周知を行い受診機会を提供していることから、公平に事業を実施することができた。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
委託医療機関等の協力により、計画どおり事業を実施することができた。		



継続／現状維持		
対象者を的確に把握するとともに効果的に事業を周知し、今後も受診率の向上を図る必要がある。		

*展開方向の区分

- 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ○ 終了 ○ 休止 ○ 廃止

5 その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

平成 21 年度 事務事業事後評価調書 (平成 20 年度事業)

整理番号 5 - 9

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名		予防接種事業															
評価者	担当課名	保健福祉課		担当係名	保健係												
	管理職	職名	課長		作成者	係長											
		氏名	葛西 隆			氏名	佐々木希美枝										
事業の概要	感染症の流行を防止し町民の健康保持を図ることを目的に、予防接種法に規定される定期予防接種(三種混合他6種)を実施する。				全体計画 (平成 20 年度～ 24 年度)	<table border="1"> <tr> <td>国・道支出金</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>19,493 千円</td> </tr> <tr> <td>事業費計</td> <td>19,493 千円</td> </tr> </table>		国・道支出金	千円	地方債	千円	その他	千円	一般財源	19,493 千円	事業費計	19,493 千円
国・道支出金	千円																
地方債	千円																
その他	千円																
一般財源	19,493 千円																
事業費計	19,493 千円																
実施方法	直営	■ 民間委託		その他 ()													
第 5 期 総合計画 (前期)		■ 登載事業		非登載事業	優先度	B											
事業の位置付け	政策目標	2 めくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～															
	基本施策	6 保健・医療の充実															
	単 位 施 策	3 母子保健の充実															
	事務事業の種類	■ 自治事務		法定受託事務													
	その他計画・根拠等	予防接種法															
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(計画)	23年度(計画)	24年度(計画)											
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円											
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円											
	その他財源	388 千円	千円	千円	千円	千円											
	雄武町負担額 (一般財源)	3,498 千円	4,030 千円	3,835 千円	3,835 千円	3,781 千円											
	合 計	3886 千円	4030 千円	3835 千円	3835 千円	3781 千円											

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	定期予防接種の対象となる町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)				
【抱える課題やニーズは】	個人及び地域における感染症の流行の危険性がある	定期予防接種実施率				
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	予防接種により予防可能な感染症の発症を予防する	① 定期予防接種の平均実施率	指標(指標計算式/解説)			目標年度 20年度
						目標値 80%
						実績値 52.50%
						達成度 65.6 %
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	感染症の個人及び地域での流行を防止し健康を保持できる	②	指標(指標計算式/解説)			目標年度
						目標値
						実績値
						達成度 %
内 容(どのような手段で何を行ったか)						
予防接種に関する広報	家庭訪問・健診等の機会を通じて予防接種の必要性や受診方法を周知した。					
受診しやすい体制の整備	安全に受診でき、受診者の利便性を考慮して、医療機関において個別接種を受けられるよう体制を整備した。					

3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要／概ね必要／ 課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 義務的なもの	予防接種法により、市町村に実施義務がある。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

概ね有効 有効／概ね有効／ 課題あり	設定した目標値の達成状況	目立った感染症の発症・流行は認められないが、高齢者等を対象としたインフルエンザ予防接種の接種率は目標には至っていない現状がある。
	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input checked="" type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的／概ね効率的／ 課題あり	判断の理由	医療機関へ委託し、効率的に実施することができた。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input checked="" type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

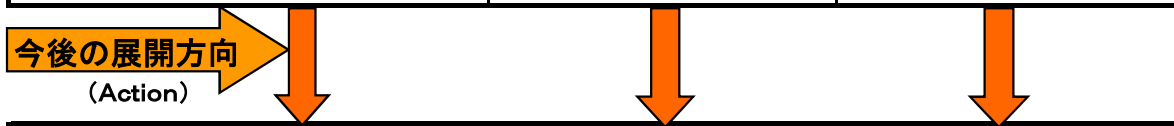
(4)事務事業の公平性

概ね公平 公平／概ね公平／ 公平でない	判断の理由	一部予防接種(インフルエンザ)においては受益者負担を求めている。定期予防接種対象者へは広く事業を周知し、公平性を確保している。
	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B: ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
B		
目標値を達成していない部分があり、さらに事業の必要性を周知していく必要がある。		



継続／現状維持		
法律改正や新型インフルエンザの発生等新たな課題に対する取り組みを行いながら、感染症の流行を防止するよう事業を実施していく必要がある。		

* 展開方向の区分

- 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ○ 終了 ○ 休止 ○ 廃止

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

平成 21 年度 事務事業事後評価調書 (平成 20 年度事業)

整理番号 5 - 10

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名		母子保健事業				
評価者	担当課名	保健福祉課		担当係名		保健係
	管理職	職名	課長		作成者	係長
		氏名	葛西 隆			氏名
事業の概要	妊娠・出産から子育て中の児童・保護者の育児支援及び健康増進と疾病の早期発見・対応を図るため、母子健康手帳・妊婦健診受診票の交付、乳幼児健診・健康相談、育児講座等を実施する。				全体計画 / 単年度繰返 (平成 20 年度 ~ 24 年度) 事業費 国・道支出金 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 9,140 千円 事業費計 9,140 千円	
実施方法	■ 直営		民間委託		その他 ()	
第 5 期 総合計画 (前期)		■ 登載事業		非登載事業		優先度 B
事業の位置付け	政策目標	2 めくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～				
	基本施策	6 保健・医療の充実				
	単位施策	3 母子保健の充実				
	事務事業の種類	■ 自治事務		法定受託事務		
	その他計画・根拠等	母子保健法				
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(計画)	23年度(計画)	24年度(計画)
	国・道支出金	32 千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額 (一般財源)	1,866 千円	1,818 千円	1,818 千円	1,818 千円	1,818 千円
	合計	1898 千円	1818 千円	1818 千円	1818 千円	1818 千円

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	子育て中の保護者・乳幼児・児童	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)				
【抱える課題やニーズは】	乳幼児・児童が心身共に健全に発達する 保護者が育児を楽しく行うことができる	乳幼児健診受診率				
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	育児を楽しみながら行うことができ、乳幼児期に健全な発達育を遂げることができる	① 3歳児健診の受診率	指標(指標計算式/解説)			目標年度 20年度
			目標値及び実績値			目標値 98%
			実績値			90%
			達成度			91.8 %
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	育児を楽しみながら行う町民が増える より健全な発達を遂げる児童が増える	②	目標年度			
			目標値			
			実績値			
			達成度 %			
内 容(どのような手段で何を行ったか)						
妊婦への支援	母子健康手帳・妊婦健診受診票の交付、母親(両親)学級の開催、訪問による面接・相談対応					
産婦・乳幼児への支援	訪問指導、乳幼児健診(3・4か月、9・10か月、1歳6か月、3歳)、乳幼児健康相談(6・7か月、1歳、2歳)、養育者支援関連事業(新生児期、3・4か月健診の児童虐待予防のアセスメント・支援)、母乳育児相談(タッチケア講座)					
母子保健サービスに対する保護者の意見反映	母子保健サービス改善事業により、子育て中の保護者から、母子・子育て支援関連事業等に対する意見を聴取し改善を図る					

3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要／概ね必要／ 課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 義務的なもの	妊産婦から乳幼児期の児童・保護者にとって変化や不安の多い時期であり、系統的に事業を提供する必要性が高いと考える。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input checked="" type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効／概ね有効／ 課題あり	設定した目標値の達成 状況	健診や相談事業の参加率は高く、個別の相談対応により課題解決を図る事ができた。
	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的／概ね効率的／ 課題あり	判断の理由	子育て支援センター等関係機関との連携により、事業内容を検討し、重複する内容は見直しするなどにより、効率的に実施することができた。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input checked="" type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／ 公平でない	判断の理由	受益者負担はないが、支援の必要性の高い、妊娠期・乳幼児期の児童・保護者に対しては、公平に事業を利用できる体制で事業を行っている。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A	A	
乳幼児期の重要な時期に、系統的に事業を実施し、児童・保護者の健康増進と育児支援に効果があったと考える。		

今後の展開方向 (Action)			
	継続／拡充 関係機関との連携により、今後も妊娠期・乳幼児期の生涯発達の基礎を形成する重要な時期に、適切な支援ができるよう事業の実施が必要と考える。 20年度より、安全に妊娠・分娩を迎えられるよう妊婦健康診査公費負担を拡充した。	継続／拡充	
*展開方向の区分 <input type="checkbox"/> 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止			

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

平成 21 年度 事務事業事後評価調書 (平成 20 年度事業)

整理番号 5 - 11

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名		訪問看護事業					
評価者	担当課名	保健福祉課		担当係名	保健係		
	管理職	職名	課長		作成者	係長	
		氏名	葛西 隆			氏名	佐々木希美枝
事業の概要		高齢者、障害者等の在宅療養の推進を図るため、介護保険・医療保険サービスの一つである訪問看護サービスを提供する訪問看護ステーション運営にかかる経費を負担する。				全体計画 (平成 20 年度～ 24 年度) 事業費 国・道支出金 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 4,700 千円 事業費計 4,700 千円	
実施方法		<input type="checkbox"/> 直営	<input checked="" type="checkbox"/> 民間委託	<input type="checkbox"/> その他 ()			
第 5 期 総合計画 (前期)		<input checked="" type="checkbox"/> 登載事業	<input type="checkbox"/> 非登載事業	優先度	B		
事業の位置付け	政策目標	2 めくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～					
	基本施策	7 高齢者支援の充実					
	単 位 施 策	1 介護サービスの充実					
	事務事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	その他計画・根拠等	医療保険各法・介護保険法					
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(計画)	23年度(計画)	24年度(計画)	
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円	
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円	
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円	
	雄武町負担額 (一般財源)	700 千円	1,000 千円	1,000 千円	1,000 千円	1,000 千円	
	合 計	700 千円	1000 千円	1000 千円	1000 千円	1000 千円	

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	要介護者等在宅療養者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)			
【抱える課題やニーズは】	病気・障害を抱えても安心して在宅生活を継続する	訪問看護ステーションの設置数			
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	病状が安定して在宅生活を送ることができる	① 町内での訪問看護ステーションの設置数	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
			目標年度	20年度	
			目標値	1 か所	
			実績値	1 か所	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	病気・障害を抱えても、在宅生活を継続する町民が増える	②	達成度	100.0 %	
			目標年度		
			目標値		
			実績値		
内 容(どのような手段で何を行ったか)					
訪問看護ステーションの運営費の補助	紋別地域訪問看護ステーションの運営費の一部を負担する。				

3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

概ね必要 必要／概ね必要／ 課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	訪問看護事業は医療・介護サービスの一つとして民間事業者が独自に運営できる事業であるが、利用者数が少ない地域での運営は経費面で困難なため、訪問看護サービス事業を誘致するためには町の負担が必要と考える。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効／概ね有効／ 課題あり	設定した目標値の達成状況	重度の要介護者等もサービスを利用しながら在宅生活を送る事ができた。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的／概ね効率的／ 課題あり	判断の理由	北海道総合在宅ケア事業団が紋別地域で広域でステーションを運営することで、効率的に事業を実施することができ、町の負担も効率的に運営されていると考える。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／ 公平でない	判断の理由	訪問看護サービスを利用する際は利用者負担がある。
	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B: ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A	A	
計画どおり事業を進める事ができた。		

今後の展開方向 (Action)	↓	↓	↓
	継続／拡充 事業を利用する要介護者・障害者の負担を軽減することを目的に、交通費負担の一部を助成するため、事業費の拡充が必要である。	継続／拡充	
* 展開方向の区分 <input type="checkbox"/> 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止			

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

平成 21 年度 事務事業事後評価調書 (平成 20 年度事業)

整理番号 5 - 12

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名		精神障害者通院通所交通費助成事業															
評価者	担当課名	保健福祉課		担当係名	保健係												
	管理職	職名	課長		職名	係長											
		氏名	葛西 隆		作成者	氏名	佐々木希美枝										
事業の概要	精神障害者が通院または社会復帰関連施設へ通所する際の交通費を助成することで、地域での生活の安定を図る。				全体計画 (平成 20 年度～ 24 年度)	<table border="1"> <tr> <td>国・道支出金</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>2,150 千円</td> </tr> <tr> <td>事業費計</td> <td>2,150 千円</td> </tr> </table>		国・道支出金	千円	地方債	千円	その他	千円	一般財源	2,150 千円	事業費計	2,150 千円
国・道支出金	千円																
地方債	千円																
その他	千円																
一般財源	2,150 千円																
事業費計	2,150 千円																
実施方法	■ 直営	民間委託		その他 ()													
第 5 期 総合計画 (前期)		■ 登載事業	非登載事業	優先度	B												
事業の位置付け	政策目標	2 めくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～															
	基本施策	9 障がい者支援の充実															
	単位施策	3 社会参加の促進															
	事務事業の種類	■ 自治事務	法定受託事務														
	その他計画・根拠等																
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(計画)	23年度(計画)	24年度(計画)											
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円											
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円											
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円											
	雄武町負担額 (一般財源)	277 千円	430 千円	430 千円	430 千円	430 千円											
	合計	277 千円	430 千円	430 千円	430 千円	430 千円											

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	精神障害者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)				
【抱える課題やニーズは】	町外の専門医療機関・社会復帰関連施設への定期的な通院・通所が必要である	事業利用者数				
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	精神障害者が必要な定期通院・通所の機会を確保できる	① 事業利用者数の増	指標(指標計算式/解説)			目標年度 20年度
			目標値及び実績値			目標値 30
						実績値 19
						達成度 63.3 %
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	精神障害者の心身の安定を図り在宅生活が継続できる	②	目標年度			目標年度
			目標値			目標値
			実績値			実績値
			達成度			達成度 %
内 容(どのような手段で何を行ったか)						
交通費の助成	町外の精神科専門医への受診、地域活動支援センター等への通所に係る交通費を助成する。					

3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

概ね必要 必要／概ね必要／課題あり	<input type="checkbox"/> 義務的なもの	精神障害者の福祉サービスは、身体障害者・知的障害者と比較して制度が十分ではなく、医療施設・福祉施設は町外にしかないため、専門機関への定期通院等のため、一定の助成が必要と考える。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効／概ね有効／課題あり	設定した目標値の達成状況	事業の利用により定期通院が継続され、病状の安定や在宅生活の継続等に効果がみられている。また、家に閉じ込めりがちな障害者が、通所施設を利用し、社会参加を図る上での有効な支援策となっている。
	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的／概ね効率的／課題あり	判断の理由	事務作業の軽減を図る工夫等により効率的に実施することができた。
	<input type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input checked="" type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	


(4)事務事業の公平性

概ね公平 公平／概ね公平／公平でない	判断の理由	事業の対象者(自立支援医療のうち精神通院医療受給者)のうち、本事業利用者は約60%と推計される。本制度より他制度(身体障害者施策・生活保護による交通費の助成等)を優先する方もいると思われるが、事業の利用を必要とする障害者に対する周知が必要である。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input checked="" type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
B	B	
目標の達成には至らなかったが、社会復帰関連施設を定期利用する方がみられており、社会参加支援策として一定の効果が得られている。		

 今後の展開方向 (Action)		
継続／現状維持 自立支援医療担当(社会福祉係・紋別保健所)・精神科医療機関等の協力のもと、事業を必要とする町民に対して、事業の利用促進を図りながら、事業を継続する。	継続／現状維持	
*展開方向の区分 <input type="checkbox"/> 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止		

5 その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

平成 21 年度 事務事業事後評価調書 (平成 20 年度事業)

整理番号 5 - 13

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名	精神障害者・家族等支援事業					
評価者	担当課名	保健福祉課		担当係名	保健係	
	管理職	職名	課長	作成者	職名	係長
		氏名	葛西 隆		氏名	佐々木希美枝
事業の概要	精神障害当事者及び家族等の地域生活・社会参加への支援を通して、住み慣れた地域での生活の継続と生活の質の向上を図る。			全体計画 (平成 20 年度～ 24 年度) 事業費 国・道支出金 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 千円 事業費計 千円		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営	<input type="checkbox"/> 民間委託	<input type="checkbox"/> その他 ()			
第 5 期 総合計画 (前期)	<input checked="" type="checkbox"/> 登載事業	<input type="checkbox"/> 非登載事業	優先度	B		
事業の位置付け	政策目標	2 めくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～				
	基本施策	6 保健・医療の充実				
	単 位 施 策	4 メンタルヘルス対策の推進				
	事務事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務			
	その他計画・根拠等	精神保健福祉法・障害者自立支援法・雄武町第3次障がい者計画				
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(計画)	23年度(計画)	24年度(計画)
	国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円
	その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
	雄武町負担額 (一般財源)	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	合 計	千円	千円	千円	千円	千円

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	精神障害者・家族等関係者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	
【抱える課題やニーズは】	精神障害を抱えながら地域で安定した健康的な生活を送る	精神障害に関する相談件数	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	病状が安定し、充実した地域生活を送ることができる	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
		① 精神障害全般に関する相談件数の増 (H19年度実績 家族会・回復者クラブ 出席者数・精神関係 相談数242件)	目標年度 20年度
			目標値 260
			実績値 461
達成度 177.3 %			
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	健康的で充実した地域生活を送る精神障害者が増える	②	目標年度
			目標値
			実績値
			達成度 %
内 容(どのような手段で何を行ったか)			
精神障害者家族会・回復者クラブ運営支援	家族会支援月1回、はまなす会月2回等の運営支援		
電話・来所相談、家庭訪問等による支援	電話相談等による個別相談支援		

3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要／概ね必要／ 課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 義務的なもの	精神障害者にかかる相談支援は身近な市町村で行う義務がある。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効 有効／概ね有効／ 課題あり	設定した目標値の達成 状況	すでに福祉サービスを利用する方からの相談や医療機関を通じた相談は増加しており、精神障害者の福祉・保健に関する相談には有効であったと考える。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的／概ね効率的／ 課題あり	判断の理由	事業経費はなく、支援に要する人員も必要最低限とするなど効率化を図ることができた。 また、西紋地域活動支援センターの相談員の協力を得るなど、支援の専門性や広域化も視野に入れて事業運営を工夫することができた。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input checked="" type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input type="checkbox"/> その他	

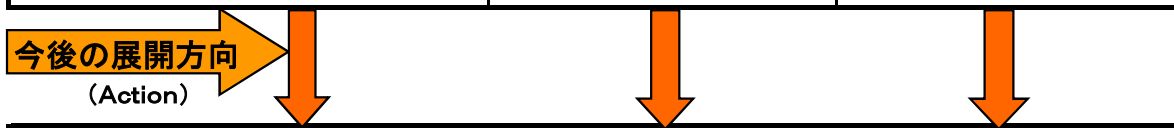
(4)事務事業の公平性

概ね公平 公平／概ね公平／ 公平でない	判断の理由	家族会等の運営は主に受益者負担により運営されており、概ね公平性が保たれていると考える。
	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

- A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B: ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
計画どおり事業を進めることができた。		



継続／現状維持		
第3次雄武町障がい者計画の目標に定められた、町内における地域活動支援センターの実施を視野に入れて、現在の事業を進めていく。		

* 展開方向の区分

- 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 ○ 終了 ○ 休止 ○ 廃止

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--

平成 21 年度 事務事業事後評価調書 (平成 20 年度事業)

整理番号 5 - 14

1 事務事業の表示

※ ■ : 該当

事務事業名	地域支援事業(保健係分)																															
評価者	担当課名		保健福祉課		担当係名		保健係																									
	管理職	職名	課長		作成者	職名	係長																									
		氏名	葛西 隆			氏名	佐々木希美枝																									
事業の概要	要介護者の増高を防止し高齢者の福祉の向上を図るため、老人クラブ会員等を対象とした健康教育・健康講座、栄養改善・口腔機能向上・うつ予防等を目的とした家庭訪問を実施する。				<table border="1"> <tr> <td>全体計画</td> <td colspan="3">(平成 20 年度～ 24 年度)</td> </tr> <tr> <td>国・道支出金</td> <td>1,625 千円</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>千円</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>2,175 千円</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>540 千円</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>事業費計</td> <td>4,340 千円</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table>				全体計画	(平成 20 年度～ 24 年度)			国・道支出金	1,625 千円			地方債	千円			その他	2,175 千円			一般財源	540 千円			事業費計	4,340 千円		
全体計画	(平成 20 年度～ 24 年度)																															
国・道支出金	1,625 千円																															
地方債	千円																															
その他	2,175 千円																															
一般財源	540 千円																															
事業費計	4,340 千円																															
実施方法	■ 直営		民間委託		その他 ()																											
第 5 期 総合計画(前期)			■ 登載事業		非登載事業		優先度	B																								
事業の位置付け	政策目標	2 めくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～																														
	基本施策	7 高齢者支援の充実																														
	単位施策	1 介護サービスの充実																														
	事務事業の種類	■ 自治事務		法定受託事務																												
	その他計画・根拠等	介護保険法・介護保険事業計画・高齢者保健福祉計画																														
事業費	実施年度	20年度(実績)	21年度(見込)	22年度(計画)	23年度(計画)	24年度(計画)																										
	国・道支出金	86 千円	325 千円	325 千円	325 千円	325 千円																										
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円																										
	その他財源	114 千円	435 千円	435 千円	435 千円	435 千円																										
	雄武町負担額(一般財源)	29 千円	108 千円	108 千円	108 千円	108 千円																										
	合計	229 千円	868 千円	868 千円	868 千円	868 千円																										

2 事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	要介護になる恐れのある高齢者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)					
【抱える課題やニーズは】	加齢や家の中に閉じこもりになること等から介護を要する状態となる恐れがある	介護予防事業参加者数					
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	介護を要する状態になることを防ぐ	① 介護予防事業参加者数の増加(平成19年度実績493件)	指標(指標計算式/解説)			目標年度	20年度
					目標値	540	
					実績値	540	
					達成度	100.0 %	
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	介護を必要とすることなく、健康で活動的な高齢者が増える	②			目標年度		
					目標値		
					実績値		
					達成度	%	
内 容(どのような手段で何を行ったか)							
健康相談・健康講座の実施	老人クラブ・介護予防グループ等を対象とした健康相談・健康講座を実施する。						
家庭訪問指導	うつ予防・口腔機能向上等を目的とした家庭訪問による健康相談・助言を行う。						

3 事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要 必要／概ね必要／ 課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 義務的なもの	高齢化の進展により高齢者が増加する中、介護を要する高齢者の発生を防止し、高齢者が健康的で活動的に高齢期を過ごす事は高齢期における重要な課題であり、介護予防に資する事業が必要と考える。
	<input type="checkbox"/> 全部 <input type="checkbox"/> 一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

概ね有効 有効／概ね有効／ 課題あり	設定した目標値の達成状況	継続的に事業に参加する高齢者が増えている一方、健康状態・生活状態を把握できていない高齢者もあり、事業の効果を上げるためには、事業に参加する高齢者を広げる必要がある。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的 効率的／概ね効率的／ 課題あり	判断の理由	地域包括支援センター等関係機関との連携により事業の効率化に努めた。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制 <input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／ 公平でない	判断の理由	一部事業(食生活改善事業)参加者には受益者負担を求めている。今後は包括支援センター等関係機関とも連携のうえ、事業参加者を拡大していく必要がある。
	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担がある <input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	

4 総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B:ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A	A	
目標はほぼ達成することができたが、事業の参加者が一部に限定されている面があり、参加者の拡大が必要である。		

今後の展開方向 (Action)	↓	↓	↓
	継続／拡充	継続／拡充	
地域包括支援センター等関係機関との連携のもと、要介護になる恐れのある高齢者を的確に把握し、事業参加者の拡大を図りながら、支援の充実に努める。			
*展開方向の区分 <input type="radio"/> 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更 <input type="radio"/> 終了 <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 廃止			

5 その他特記事項 (アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

--